

環境と健康

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

佐藤 均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL <http://www.kanhokyo.or.jp/>



海岸清掃には多数の観光客も飛び入り参加(上)、ミヤジマトンボの説明に聞き入る参加者(中右)、大量に漂着するパイプ(中左)、ゴールの大元公園で交流を深める廿日市市公衛協メンバー(下)

7月16日(土)、広島県主催の「宮島海岸GOM-ゼロ大作戦」が開催されました。「瀬戸内海の環境の保全に関する広島県計画」の取り組みの一つで、当日は約千人が集まり、楽しみながら環境活動を行う6つのプロジェクト「スポンジGOM-ゼロin包ヶ浦」「GOM-拾いウォーキング」「GOM-拾い」「AQUA SOCCER」「FES!!2016」「宮島南部海岸クリーンアップ」「宮島エコツア」が実施されました。

GOM-拾いウォーキングは、宮島学園を午前10時にスタート、海岸沿いを清掃しながら多々良渚で折り返し、大元公園をゴールとする全長6.5kmのコースで、県内各地から集まった家族、健脚自慢、廿日市市公衛協をはじめとする団体に加え、観光客の飛び入り参加でにぎわいました。さわやかな風が吹く絶好のコンディションの中、正午過ぎからゴールである大元公園に参加者が続々と到着、集めたごみを分別しながら成果をたたえあい、ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会の坂本会長から、宮島で約60年にわたり生き残っている固有種ミヤジマトンボが生息する環境が紹介されました。

参加者からは「海岸はごみが多いけど、道や商店街はきれいだ」と驚いた「地元の人から、海をきれいにしてほしい」という声も聞かれました。公衛協や自治体の参加者は「空気をきれいにしてほしい」という声も聞かれました。

とてもきれいな「漁業由来のパイプや発泡スチロールが多い」などの気づきと、「もし生き物がごみを食べたなら」「大きな発泡スチロールが割れて大量のかけらが発生する」などの不安の声も聞かれました。公衛協や自治体の参加者は「空気をきれいにしてほしい」という声も聞かれました。

「地域活動支援センター」で、地元のごみ事情との違いや「楽しく、気持ちよく歩けた」「一万歩以上歩いた」とさわやかに語られました。

このイベントをきっかけに、県内各地の水辺で、次世代へつなげる景観、環境保全の取り組みが広がることを期待します(5面に関連記事)。

「高齡期の孤立を防ぐ」

歩や庭の手入れ、あいさつなどが、近所との接点が「ミニミニ」を育みます。すくなくできることとして、外に開く家づくりを意識することがあります。玄関まわりに植木を置いて水やりをしたり、窓を開けたりすることで接点は増えます。まずは住宅の外との接点を増やすことから、高齡期の孤立を防ぐ取り組みをしてみませんか?

「高齡期の孤立を防ぐ」

「高齡期の孤立を防ぐ」

第55回環境保健夏季大学開催 170人が体験と意見交換

環境保健夏季大学は、市町公衛協推進委員、事務局担当者を主対象とした1泊2日の宿泊研修で、体験交流を通して今後の環境保健・公衆衛生の向上と活動の活性化をねらいに開催しています。

今年は、平成28年7月7日~8日に第55回環境保健夏季大学(合同研修)を開催し、県内各地から約170人がグリーンピアせとうち(呉市)に参集しました。

開講に先立ち、60年にわたる公衛協活動の歴史を振り返るスライドを上映し、公衛協に関する認識を共有しました。当協会佐藤均理事長の開講あいさつに続き、広島県健康福祉局医療・がん対策部長金光氏、呉市市民部長品川氏からあいさつをいただきました。

1日目は、当協会が主催する3つの専門研修の体験と今年度から始めたキャラバンフィットネス事業の紹介の4つの分科会に分かれて「ミニ専門研修体験」を行い、公衛協での人材育成・人材発掘のヒントを持ち帰っていただきました。

2日目は、広島修道大学人間環境学部の西村仁志教授を講師に迎え、「『無関心層』への働きかけの基本のキ」と題した基調講演(2面に講演趣旨)を行いました。



基調講演のヒントを参考に、「環境づくり」「健康づくり」「認知度・参加率UP」の3つの分科会に分かれ「どうやって無関心層へ働きかけるか」について、意見交換を行いました。

分科会では、「えんたくん(直径1mのダンボール卓)」を使い、4~6人の小グループに分かれて、活動の現状やいかに働きかけを工夫するなど、膝を突き合わせて情報交換が行われました(2面に関連記事)。

最後に、重点メニューの一つである「1万人の食チェック事業」のお楽しみ抽選会を行いました(3面に関連記事)。

閉講式では、参加者を代表して福山市公衛協の瀬尾敏治会長に修了証が授与され、全日程が終了しました。



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

かんぽきょう

検索

基本理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

